

④3 宮崎駅西口駅前広場再整備事業

受賞機関 宮崎県 宮崎土木事務所

キーワード 民間開発と一体となった駅前広場再整備、
新たなにぎわいの創出、中心市街地の活性化

全建賞審査委員会の評価ポイント

民間開発と一体となった宮崎駅西口駅前広場の再整備事業。デザイン検討やクスノキの利活用などの取組や、広場全体のイメージを統一させ、複合施設や駅等も含めて景観の調和が図られていること、イベントスペースの継続的な活用、市街地空間への動線確保が見られ、駅周辺の通行者の増加・中心市街地の回遊性向上を実現していることが評価された。

1. はじめに

「宮崎の陸の玄関口」である宮崎駅西口駅前広場は鉄道、バスなどの交通結節点としての機能はもちろんのこと、人々の交流の場として、また人の流れを宮崎市中心市街地へつなぐ役割も担っている。

しかしながら近年は、郊外型商業施設の出店などにより中心市街地の利用客が減少しており、集客を高めることが喫緊の課題となっていた。

今回の整備は、宮崎駅西口において計画された大型商業施設「アミュプラザみやざき」の建設を契機としており、民間の開発と県の駅前広場整備を一体となって行った再整備事業である。

2. 事業の概要

整備の基本方針やデザインは、行政と企業・学識経験者等がメンバーとなる委員会により速やかに決定した。また、デザイン検討会のメンバーには計画・設計から施工管理まで一貫して関わっていただき、コロナ禍により現地集合が困難であった時期にはWeb会議を活用し、PCにて現地を確認しながら、施工管理を実施した。



全体イメージを統一し、県産材の舗装材や照明により憩いの場を創出

『計画コンセプト』

～みやざきを感じる憩いのひろば～

「誰もが楽しめ、
にぎわいを創り、つなげる駅前広場」

『基本方針』

- ・誰もが安心して歩いて楽しめ、やすらげる広場
- ・にぎわいを創り、さらに拡大できる広場
- ・にぎわいを安全に中心市街地へつなげる広場
- ・公共交通の利便性が確保できる広場

3. 事業の成果

広場の完成後はイベント空間において様々なイベントが開催されており、また、にぎわい・交流空間ではベンチ等、広場でくつろぐ利用者も多く、新たなにぎわいが創出されている。

その効果の一つとして、宮崎駅周辺と中心市街地を結ぶ「高千穂通り」において、整備前と比べ休日歩行者数が約30%増加している。



様々なイベントが開催され、にぎわう広場

4. おわりに

整備は平成30年9月の再整備検討開始から、令和2年10月の工事完成まで、約2年間という短期間で完成することができた。この場を借りて事業推進に携わってこられた皆様に深く感謝申し上げたい。

また現在は、国・県・市が連携し、社会実験を通して、高千穂通り周辺地区を「居心地が良く歩きたくなる空間」とするための取組みが行われており、今後の中心市街地の更なる活性化はもちろん、観光・物産振興など、様々な分野で県内全域への波及効果が大きいと期待されている。